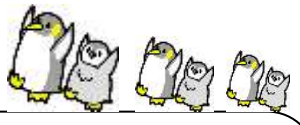
校報
けむやま
矢巾町立煙山小学校
H29.5.17(水)　第3号
紫波郡矢巾町北矢幅 1-2
TEL697－3163

高め合おう　礼節を重んじ　美しく

運動会に向けて

ひとり　ひとり
いろとりどり

NHK 教育テレビの　“おかあさんといっしょ”を孫と見ることがあります。今月の歌は「とり」。
歌詞を紹介します。



と　り　　**作詞・作曲　つだみさこ**

とべないとりは　はしれるとり
だいちをかける　いさましいダチョウ
とべないとりは　うたえるとり
あさひにひびく　コケコッコー
そらをとべなくても
できることは　たくさんあるよ
うたをうたって　にっこりわらって
いつだって　そばにいるよ

とぶのがとくいな　とりたちも
およぐのがとくいな　とりたちも
じぶんのつばさ　はばたかせて
なかよく　くらしているんだね
ひとりひとりは　いろとりどり
おなじじゃないから　おもしろい

鳥は飛べるのが当たり前ではなく，飛べない鳥だっているのです。いろんな鳥がみんなで仲良く暮らしているのですね。
この歌を聴きながら，子供たちのことが頭に浮かんできました。
今月の 27 日は運動会。朝の会では運動会の歌や校歌が元気よく校舎に響いています。
子供たちの中には，運動会を楽しみにしている児童もあれば，ちょっと苦手だなと感じている児童もあり，様々な思いをもって取り組んでいることと思います。
速さを競う徒競走。運を試すチャンスレース。みんなで力を合わせる団体競技，応援合戦やリレー。伝統を引き継ぐさんさ踊りにマーチング。
571 人，一人一人，いろとりどりの競技で自分のつばさをはばたかせます。煙山小学校の運動会楽しみにしていてください。
保護者の皆様，運動会まであと 10 日あまり，子供たちの健康管理にご留意ください。

JRC登録式

５月９日に JRC 登録式が開催されました。
JRC 委員会では，プルタブ集め，１ 円玉募金などのボランティア活動を行っています。

先日，岩館先生から，「６年生の児童が，校舎に入ってきた砂埃を進んで掃除していましたよ。」と報告がありました。
登校途中にゴミを拾ってきてくれる児童もいます。
自ら「気づき，考え，行動する」児童の育成を目指して，活動を盛り上げていってほしいと思います。

自転車事故の原因ベスト３

急な飛び出し
スピードの出しすぎ
急な方向転換

町内で児童生徒による自転車による交通事故が報告されています。また，煙山地区の住民から，子供たちの自転車の乗り方が危険だという通報が寄せられています。

自転車教室が５月 10 日に行われましたが，交通指導隊の皆さんから，運転技能がまだまだ未熟で不安だという声があがっています。

命にかかわります。自転車の乗り方にはくれぐれもご注意ください。

煙山小学校個人情報規定により氏名・写真等を非公開とする。

ヘルメット着用
一時停止
左右確認

✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿✿

クラフト太鼓 ～さんさ踊りの伝統を～

地域でいつもお世話いただいております村松さんから，さんさ太鼓の見事なクラフト作品を頂きました。

細部にまでこだわった“てんど”のよい

（方言で器用なこと）素晴らしい作品です。

お孫さんの２年生の采依さんとお父さんが持ってきてくださいました。しばらく校長室に飾らせていただきます。

ありがとうございました。

５年生のさんさ踊りの指導においでいただいております遊佐先生にも心から感謝申し上げます。

【特別支援教育 NOW】
～差別と偏見のない共生社会に～

ADHD，ASD，LD，自閉症，肢体不自由（脳性まひ等），病弱，…。最近新聞テレビ等メディアでよく見聞きするようになりました。これらは一般的に「障がい」の一つとして捉えられてはいますが，専門家から言わせると，障がいといってもどこまでが障がいなのか診断は難しいものもあり，あくまで「特性」の一つとして区分けしているにすぎないこともあるといいます。

学校では，いろんな子どもがいます。様々な特性をもった子どもとどう向き合うか。さらには，子供たち自身が自分の特性を知りどう社会に適応していくか。

これからの学校教育では，教師も保護者も，地域でさえも，様々な特性（多様性）をもつ子供たちと向き合っていかなければならない（向き合い方を工夫していかなければならない）時代にきています。

これからこの紙面をお借りし，数回に分けて，特別支援教育を大きく包み込む「インクルーシブ教育」についてお伝えしていきたいと思います。

✿✿

花伝書より

PTA総会で、子育てのヒントとして、「我見」「離見」「離見の見」ということをお話しました。◆日本を代表する伝統芸能の「能」。５百年前の偉人、世阿弥が記した「花伝書」の中にある言葉です。◆役者は三つの視点を意識することが大切とのこと。◆「我見」とは舞台からお客様を見る目。しっかりお客様をみないといけない。◆「離見」とは、お客様から自分を見る目。お客様視点です。◆そして、「離見の見」とは、それら全体を俯瞰（ふかん…高い位置から見渡すこと）して見ること。◆この三つがあってこそ、よい演技ができるとのこと。◆これって、子育てにも、様々な物事の見方、考え方にも同じことが言えそうですね。